



vol.91

2023年  
11月30日  
発行

日本山岳会

# 「高尾の森」



— 広針混交の豊かな森づくり活動 —

会員数：個人172名 法人12社  
(2023年10月末現在)

今年の夏は暑い日々が続きました。  
いろいろなイベントが行われ、良い思い出作りができたでしょうか。



2023.8.27 清新第一小 キャンプイベントより



モズ

全長約 20cm。

日本では全国の平地から低山地の農耕地や林縁、川畔林などに生息。

バッタやカエルなど、捉えた獲物をとがった小枝などに串ざしにする

変わった習性があり、これを「モズのはやにえ」といわれる。

秋になると「高鳴き」と呼ばれる激しい鳴き声を出して縄張りを主張する。

絵：横川 信由

<http://JACtakao.net>





# 植栽木のシカ対策 その後と成長報告

フィールド担当 早川憲也



高尾の森づくりの会では木下沢の都有林において 2021 年秋から 2023 年春にかけて 6 回の植樹を実施し、13 種類の補植を含め延べ 519 本の植樹を実施しました。

2021 年秋の植栽木（40 本）はシカの被害もなく順調に成長していましたが、2022 年春の植栽木（120 本）が植樹の直後にシカの被害に遭い、ほとんどの苗木の葉を食いちぎられたことを契機にシカ対策を早急に進めることになりました。

元々当会では 2021 年度からシカ対策の実験を計画しており補助金も申請していたので、その補助金等により 519 本の苗木に対し、① 90 本にハイトシェルター S135cm ② 100 本にハイトシェルター S150cm ③ 80 本に自作ツリーシェルター 135cm ④ 45 本にスパイラルグリーン 140cm の 4 種類のツリーシェルターに加え、⑤ 127 本に鹿柵を施すことができました。

このたびツリーシェルターを設置して 1 年が経過し、その効果と課題が見え始めてきましたのでその一例を紹介いたします。

まず都有林全体の植栽木に対する生存率を表に示します。（2023 年 10 月調査）

植樹時期	2021 年秋	2022 年春	2022 年春	2022 年秋	2022 年秋	2023 年春	2023 年春	合計
イベント	京王親子	植樹祭	京王親子	ミニ植樹祭	2022 年春の補植	植樹祭	京王親子	
生存本数	27 本	31 本	25 本	65 本	24 本	129 本	27 本	328 本
生存率	67.5%	25.8%	62.5%	82.3%	85.7%	75.0%	67.5%	63.2%

1. 植樹と同時にツリーシェルターを設置した 2022 年春の京王親子森林体験スクールの植栽木は 62.5% 以上の生存率となりました。一見低い様に見えますが、これは今年の夏の暑さに影響された数値でありシカの被害は皆無でした。更に 2022 年秋の苗木は今年の夏前に大きく成長し、82.3% が夏を乗り越えています。
2. 京王親子の苗木は、秋植えと春植えでは秋植えの方が 5% 程度生存率が高まりました。
3. シカ被害に遭った 2022 年春の植樹祭の苗木は、樹高が 70cm～1m 程度と成長が遅く 2022 年秋、2023 年春に植えた苗木に追い越されてしまいました。ツリーシェルターを施した苗木は春から秋にかけ 50～100cm も成長し樹高は最低でも 100cm、最大で 188cm にもなりました。
4. ツリーシェルターを施して成長するのは葉を多くつけた苗木（写真 1）で、葉の少ない苗木（写真 2）に対しては過酷な環境の様です。
5. 鹿柵は隙間からシカに潜り込まれた様子で、トチノキ、イタヤカエデ、オオモミジが多数被害を受けました。後で隙間に打ち込もうとして置いていた杭を蹴散らして（写真 3）侵入した模様です。その他の苗木が被害を受けなかったのは樹種の違いもあるかも知れませんが、下刈りが不十分で藪になっていたことが大きいかも知れません。その根拠として藪の外のケヤキはシカ被害に遭っています。
6. ツリーシェルターも設置高さが 1m 程度の場合、シカがはみ出した葉（写真 4）を食いちぎることがわかりました。
7. 最後にツリーシェルターの予期せぬ効果としてこの夏 10 匹近い蟬（写真 5）がこのツリーシェルターから羽ばたいていきました。

写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5





## 清新第一小学校 お父さんの会



# キャンプイベント復活!

藤原弘

1日目  
8/26



景信山山頂で

都心では連日猛暑日。ここ高尾でも暑い日の続く中、日影沢入口駐車場 8:30、お父さんと子供たち 40 数名とスタッフが集合してスタートしました。挨拶・(ぶーらぶら)体操を終え、いざ! 小下沢の作業小屋までウォーミングアップを兼ねて移動。装備その他をチェックして景信山に出発です。丸太橋を越えてまずザリクボ滝まで。作業小屋までの登りが登山だと勘違いしていた子の中には徐々にきつくなっていく勾配に、「あとどのくらい〜?」との声が上がりましたが、概ねまだまだ元気で緑濃い夏の沢沿いの林道を心地よさそうに歩いていました。

ザリクボ滝からはかなり勾配がきつくなり、大ケヤキで休憩した際に数名の子が小屋まで下りる事になりましたが、ほとんどの参加者が景信山頂上に到着でき、そこからの眺めを見ることができたのでほっと一安心。

山頂で昼食休憩の後、作業小屋まで戻るのに今度は危険な下りが……。危ないところでは声をかけながら何とかザリクボまで下りてきたら、次は突然のにか雨に。石の上で滑ったり転んだりすれば大怪我になるので、ゆっくり歩くことを心掛けて漸く無事作業小屋に到着しました。先に到着した班の子たちは、もうすでに紙飛行機づくりに取り組んでいて、そのあと到着した子たちもそこに合流して一緒に飛行機飛ばしレース。あまり風もなく飛行機飛ばしには都合よく随分遠くに飛ばす子もいてビックリ!

そうして初日のスケジュールを終え、有志のお父さんの立てたテントの待つ日影沢キャンプ場まで移動。定番のカレーライスにありつくまでの時間も、周辺に生息する野生の猿が驚くほどの元気な声が、山に響き渡っていました。

2日目  
8/27



沢登りしゅっぱあ〜つ!

次のソーメンゲットだぜ!!

この日はいよいよ沢登り。キャンプ場の片付けに予想を超える時間を費やし、四の沢前をスタートしたのは 10 時頃。沢の水量は普段よりも少し多いとは言え危険なほどではなく、お父さんやスタッフの注意深く見守るなか気持ち良さそうに沢の水の中を歩きます。参加の子供たちは一年生から六年生までいて、小さい子はお腹まで水に浸かってしまう子もいる中、途中心配した寒がったり腹痛を起こしたりする子もなく、皆元気にベース小屋前までの数百メートルを暑さを忘れて歩き終えることができました。

気持ちいい〜ツ!



予定の時刻をかなりすぎた到着で皆お腹ペコペコ。ベーススタッフが用意した流しそうめんを皆楽しみながら食べて、「俺 14 杯食べた!」などと言っている強者の子もいて、遠慮気味に一番下で二杯ほどしか戴けなかった小生を驚かせました。

食後、「丸太切りたい人〜!」と声をかけるとまず「は〜い!」と返事をしたのは女の子。のこぎりを使って木を切る事のまず無い都会の子は何度も挑戦してみたり、男の子は太い丸太を切る事にステイタスを感じたようでした。

こうして初日の朝の少し不安げな表情の子供たちは、何か一つやり終えた満足気で自信に満ちた表情でベース前を後にして、お父さんと共に帰っていきました。

高尾の森づくりをする中、森を含む自然の大切さを伝えていくことのむずかしさを痛感していますが、自然と親しんで初めて大切さを知るんだなぁと実感する体験でした。なんといっても、楽しそうな子供たちの声がこれからもずっと続いてほしいと思いました。



# 8月活動日記



世の中夏休み？高速道路は大渋滞！

- 板当植樹予定エリアの中低木の除伐作業は、A班、B班共同で継続的に進められているがなかなか先が見えず。1年で一番過酷な8月も除伐作業が精力的に行われた。
- ザリクボ滝周辺の整備、上の横道への連絡作業道の整備が行われた。



A班出発前



板当作業場所到着



精力的に作業中



## もくじ

植栽木のシカ対策……………	02
清新第一小学校お父さんの会…	03
8月活動日記……………	04
9月活動日記……………	05
10月活動日記……………	06
刈払機・チェーンソー研修報告…	07
トランシーバー使い方解説……	08
小下沢の森の樹木たち……………	09
【連載】安全作業のすすめ…………	10
富士電機納涼祭り……………	11
新会員紹介……………	11
事務局からのお知らせ……………	12



チョットー休み!?



先が見えない……



作業終了後の楽しみ♪



スイカ最高お～っ！



# 9月活動日記



ベース小屋の裏庭でお宝？発掘（C班）



板当エリアの作業



お昼休みの平和なひと時



乾いた体に水分注入



トイレのドアの裏側に謎の物体が！

- 台風で大雨が降った翌日の定例作業は一日中霧がかかって蒸し暑く、8月以上に大汗をかいての作業となった。
- ベースの整地と、ザリクボ滝から巨木の森に通じる上の横道までの連絡道の整備が行われた。



下界で打上げ後、皆さんいい顔してます



# 10月活動日記



これ、  
シモバシラの花だそうです



- 暑かった日々も過ぎ去り、板当では一日中アサギマダラが飛び交う気持ちの良い中での作業となった。
- 9月に引き続き、上の横道までの連絡道の整備が行われた。
- 一丁平作業では終了後の小屋への道具格納中に突然の雷雨だったが、無事今年度の作業を終えることができた。



出発前はまだ笑顔 (B 班)



板当ってこんなところ

「秋の TAKAO599 祭  
森の学校」のイベントの一つ  
「丸太切り体験」に協力



作業場所で



作業中はこんな感じ



巻き落とし作業



左：新人、右：先輩 お二人とも女性です



一丁平作業終了!



# 刈払機・チェーンソー研修報告

今年度は、刈払機研修を7月17日に実施し7名の参加者が、チェーンソー研修は7月29、30日、9月24日の3日間に渡り2名の参加者が、それぞれ座学と実技・現場実習を終え、無事に修めることができました。

この研修は来年度も開催予定です。まだ研修を受けたことない方、来年度は是非チャレンジを。

講師の皆様、ご協力ありがとうございました。

## 参加者の声

### 刈払機実践の心得は？

仲洋二

座学は素晴らしい教材本があり構造・保守安全が理解できました。

実習では調整済の刈払機に新品の刈刃を取り付けてベース広場周辺を刈りました。草は一瞬にして根元近くから薙ぎ倒されます！直径5cm位の灌木もスッパリと！

講師陣から教わったり、私なりに掴んだ心得としては、①刃研ぎは基本（効率、安全面）②肩掛けバンドの長さ調整は省かない（疲れ方、能率）③スロットル調整で最適回転数を維持（効率、燃費）④不精をしない（前点検、安全具の着用、刃に付いた草除去時のSW切、など）⑤すっきりと綺麗な作業跡を残す刈作業、等でした。

講座のスタッフの皆さん、有難うございました。

### チェーンソー講習を受けて

大塚廣康

テキストを使って基本操作、伐木作業、メンテナンス方法、最後にテストと3日に渡ってかなり密度の濃い内容でした。

今回の講習で感じた事は、チェーンソーは大変便利な機械だけどまたそれだけに危険性を持っている事。その安全性を維持する為には日頃のメンテナンスがいかに大事かを学びました。また講習を受けたから実際に使いこなせる訳ではなく何度も練習するのを感じました。これから実践で自己研鑽を積んでいきたいと思っています。



修了証授与式

### 刈払機 はじめの一步

櫻井範子

刈払機に触ったこともない初心者でしたが、一つでも技術を身に付けたいと講習会に参加しました。

まずテキストに添って講義を受け、午後は実技。機械班の方々が準備から丁寧に教えてくださいました。草刈りの実技は手順通りに行うのが精いっぱいでしたが、目の前の草が刈られていくと嬉しくなりました。刈るだけでなく、機械を使うための準備と使用後の手入れも重要と分かりました。一通り扱えるようになるには実践の繰り返しが必要だと思います。

はじめの一步の機会をいただき感謝しています。

### 凶器を扱っている意識で

藤原弘

初日は座学で、松隈さんのテキストを使っただけの講習でした。チェーンソーは何の教育もなく使用したことはありましたが、その際、目の前でチェーンが大きな音とともにブンブン回り、いとも簡単に太い木を切る事の出来るのに少々驚きましたが、ちゃんと教育を受け様々な事故例を知る事で以前使った際に何もなくてよかったと思いました。また実技を通してメンテナンスされていない道具を使う事の危険も感じ、やはり教育の大切さを感じました。

機械に慣れると扱いがよい加減になることがありそうで、常に凶器を扱っている意識を以って当たりたいと思っています。

# 高尾の森で使ってるトランシーバーは 資格不要って知ってましたか？

## トランシーバー使い方解説 大島徹



高尾の森づくりの会で使用しているトランシーバーは、「デジタル簡易無線（登録局）」といって、総務省関東総合通信局に登録手続きを行い登録状の交付を受け、資格不要で誰でも使うことができます。また、資格が必要なトランシーバーと同等の高出力ですので、見通しの良い場所では 10km、20km 先の相手とも通信できる優れたものなのです。さらにはデジタルなので、クリアな音質！特に非常時、緊急時など、トランシーバーを触ったことが無い方も使えるように、使い方について解説いたします。

### 電源「入」「切」、音量調節、通信方法

- (1) 本体右上のツマミを右に回し、「カチッ」と音がしてから、数秒後に「ピポッ」という音がして電源が入ります。同じツマミが受信の音量調節になっています。



電源、音量ツマミ

通信のためのチャンネルなどは設定済みですので、これだけで使用可能な状態になります。

- (2) 送信するときはマイクの横にあるボタンを押したまましゃべります。ボタンから手を放すと受信状態になります。



マイク横のボタンを押したまましゃべる

- (3) マイクと口の距離は 10cm くらいで使用してください。マイクに口を付けたり、大声でしゃべると音が割れたり歪んだりして相手が聞きにくくなりますのでご注意ください。
- (4) 送信状態（電波が出ている状態）ではトランシーバー本体の赤のランプが点灯します。

### 通信時の注意事項、呼び出し、応答について

- (1) トランシーバーでの交信は、電話の通話とは違います。いきなり「もしも～し」と言うのはやめてください。複数の方が聞いていますので、これでは誰が誰を呼び出しているのかわからず誰も応答できません。
- (2) 必要な相手を呼び出す場合は、必ず呼び出す相手のグループ、名前などを言ってから、自分のグループ、名前を伝えてください。無線通信では相手を先に呼び出すのが基本ルールです。
- (3) 初めて呼び出す場合、相手が呼び出しを常に聞いているとは限りませんので、呼び出す相手のグループ、名前などは 2～3 回くらい繰り返してください。

一度の呼び出しで相手が応答しない場合は、少し時間をおいてからもう一度呼び出しましょう。

- (4) 山の谷間で呼び出したい相手に電波が届かない場合などは、電波が届く相手に中継してもらうこともできます。

### フォネティックコード

一般の会話でもそうですが、「B」と言ったのに「D」や「P」と聞き間違えたりしたことありませんか。無線通信の場合は確実に内容を聞きとるために「フォネティックコード」を使います。高尾の森では A～D 班がありますので、最低限これだけは覚えましょう。

A：アルファ B：ブラボー C：チャーリー  
D：デルタ (E：エコー) ……

フォネティックコードは世界共通なんですよ。海外の戦争映画を見てたりすると時々出てきたりしますよね。日本の「朝日のア」「いろはのイ」……、これも日本語版フォネティックコードなんです。

### 呼び出し、応答例

#### 【例 1】通常の呼び出しと応答

《呼出》本部、本部。こちらはチャーリー C 班 佐藤です。どうぞ。

《応答》チャーリー C 班 佐藤さん。こちらは本部 田中です。どうぞ。

#### 【例 2】誰でも良いから応答してほしいとき

《呼出》高尾の森関係者、高尾の森関係者、誰でも良いので応答してください。こちらはアルファ A 班 高橋です。どうぞ。

#### 【例 3】自分が呼び出されていることを確認したが、誰から呼ばれたかわからない場合

《応答》どなたかこちらを呼びましたか？ こちらはデルタ D 班 斉藤です。どうぞ。

使い方はご理解いただけたでしょうか。各班で通信担当の人が決まっていたりするかもしれませんが、担当の人に関係なく皆さん遠慮なくご使用ください。



## 小下沢の森の

連載 第3回

## 樹木たち

これまで樹木の見分け方として、花、葉の形、幹の形、樹肌、種子などがポイントになると述べてきました。この中で「葉」（若葉、落ち葉）は1年を通じて樹種名を知る有力な手掛かりになります。ただし、今回掲載のトチノキ、オニグルミの葉は単葉ではないので注意が必要です。

## 樹木特性と生育状況

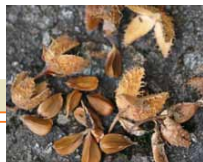
(カッコ内は植樹本数)

11

01年植栽地の  
最高所のブナ

## ブナ、イヌブナ (345) 【ブナ科】

◆温帯の山地の樹木であるが、高尾山頂や小下沢フィールドの高所に寒冷期の名残として自然木が残留 ◆小下沢では日照の少ない林縁の方が活着、成長がよい傾向 ◆数年に一度堅果がなり動物の餌となる

ブナの実\*  
(クマの好物、人も食べられる)

12

## イロハモミジ (1,485) 【カエデ科】

◆代表的な陰樹で小下沢では日照条件の悪いガレ場でも活着率は良い ◆冬芽の中に翌年開く葉のすべて（数枚）が入っているため、日照の如何にかかわらずこれ以上成長できないのが陰樹たるゆえん ◆同系統のオオモミジ

05E 植栽地の  
イロハモミジ群秋のイロハモミジ  
(木下沢梅林前のシンボル)

13

オニグルミの林  
(05E 植栽地)

## オニグルミ (668)

【クルミ科】

◆堅果はクルミの実として重宝され、古くから親しまれてきた ◆材質は滑らかで狂いが少なく家具や器具材として用いられる ◆沢筋などの水のあるところでよく育ち、ガレ場でも生長は早い



葉（羽状複葉といいこれで1枚）と実

14

トチノキの葉  
(掌状複葉といい  
これで1枚)

## トチノキ (770)

【トチノキ科】

◆自然木は25mの高木となり、小下沢の植栽地では苗木の活着は良い ◆葉はホオノキに似るがトチノキは5～7枚が掌状(手のひら状)についた複葉（1枚） ◆花は美しいが高木の上方で咲くため鑑賞できない ◆トチの実はいく抜きをし、栃餅の材料として珍重

ホオノキ(前出)の  
葉(枝先に集まる数枚の葉)

15

## ミズキ

(700) 【ミズキ科】



ミズキの花

◆高尾山に多い樹種・生長は早くカツラとともに高木を形成 ◆水木の名のごとく春の芽吹き時に水分の吸い上げが激しいが、イタヤカエデのように糖分の含有はない ◆秋には紅葉が美しく、赤黒い実がなりヒヨドリなどの小鳥の好物



ミズキの実



連載  
**安全作業**の  
すすめ……その4

今年の夏は暑かった。気象庁も過去 126 年で最も暑かった夏と。台風の接近も少なく、雨で作業が中止になることもなかったのも、この夏に作業に参加されたみなさんは各自で暑さ対策に工夫されたかと思います。夏が暑いと冬は寒く大雪になる年が多いとも言われます。今回は「低体温症」を取り上げてみます。

■低体温症とは

ヒトは恒温動物です。このため暑い夏や寒い冬にも活動することができます。これは体温を下げるための熱放散と体温を上げるための熱生産のバランスを保つことで生きていくことになります。

生活の中で体温を測定することが多くあるかと思います。腋下、舌下、耳孔などで測定する体温は皮膚温といいますが、心臓や肺などの臓器や脳といった体の中心機能の温度を深部体温といいます。深部体温は皮膚温よりも 0.5℃～1℃ほど高く、37℃前後に保たれています。この体温が 35℃以下に下がることを低体温症といいます。

■体温を奪う原因

春夏秋冬どの季節、高山だろうが低山だろうが体温の下がる環境にいれば低体温症になってしまいます（表 1）。

表 1 体温を奪う4つの要素

対流	風によって体温が奪われる現象	風速 1m/s で約 0.7℃ 体温が奪われる
伝導	温度の高い方から低い方へ熱が伝わる現象	冬に日陰の地面に座るとお尻が冷たくなるなど
蒸発	汗が蒸発するときに気化熱によって体熱が奪われる現象	
放射	衣服を脱いで裸になると体温が放出される現象	

金田正樹・伊藤 岳共著『図解 山の救急法—医学的根拠から応急処置まで—』を一部改編

最も多く体温を奪う現象は「対流」です。いわゆる風によって熱を奪われる。気温 15℃の環境で風速 5m/s もあれば体感温度的には約 10℃になります。

低体温症による遭難事故は、①気温 10℃以下 ②風速 10m/s 以上 ③雨など体を濡らす天候 で発生しているとされています。

③の体を濡らす天候では「伝導」が現象としてあり、水は空気の 24 倍の熱伝導率があります。このため体が濡れて、風が強いと体温は加速度的に低下していきます。これは汗をかくことも体を濡らすという点では同じことです。このため、冬でも作業を行う私たちは、雨天晴天に限らずに「体が濡れる」ことを考えておかなければなりません。

■体温低下と症状

低体温の最初の自覚症状は「寒け」と「震え」です。

体温と発症する主な症状をまとめた表から、この「寒け」と「震え」は初期の症状で、この段階で体温低下防止に努める必要があります（表 2）。この段階で対応を失敗すると状況によっては体温は下がり続けます。

深部体温が 35℃になると手の細かな動きや皮膚感覚に制限がかかり、作業や歩行に遅れが生じるようになるので、この段階で作業を中止し体温回復に努めるようにします。

■体温回復法

方法として ①暖かい物を飲む・食べる ②重ね着をする ③汗や雨で濡れていた場合は乾いた衣類に着替える ④湯たんぽなどで腹部、腋下、鼠径部を温める 等が効果的です。

表 2 体温と主な症状

金田正樹・伊藤 岳共著『図解 山の救急法—医学的根拠から応急処置まで—』を一部改編

深部体温	主な症状	対応
36℃	●寒さを感じる●寒気がする	体温低下防止処置に努める
35℃	●手の細かい動きができない●皮膚感覚が麻痺したようになる・感じる●次第に震えが始まってくる●作業や歩行に遅れがしょうじる	
34～35℃	●歩行は遅く、よろめくようになる●筋力の低下を感じるようになる●口ごもるような会話になり、時に意味不明の言葉を発する●無関心な表情をする●眠そうにする●判断が鈍る●軽度の錯乱状態になることがある	直ちに作業を中止し回復処置に努める
34℃以下	●手が使えない●転倒するようになる●まっすぐに歩けない●感情がなくなる●しどろもどろな会話●意識が薄れる●起立不能●思考ができない●錯乱状態になる●震えが止まる●筋肉が硬直する●不整脈が現れる●意識を失う●半昏睡状態●脈が弱い●呼吸数半減●瞳孔が大きくなる（瞳孔散大）●筋肉の硬直が著しくなる●心室細動を起こす●昏睡状態●多くが心停止を起こす	救急要請レベル



★ Keyword

- # 低体温症
- # 寒け
- # 震え
- # 深部体温



4年ぶりに

## 富士電機納涼祭りに出店！

本山幸次・仁藤正夫



弊会の法人会員である富士電機(株)東京工場では、夏恒例の祭典「コミュニティフェスティバル(納涼祭り)」がここ数年コロナ禍で中止になっていましたが、今年は8月25日(金)に4年ぶりに開催されることになり、そこに弊会のモノづくり班が手作りした木工細工販売の模擬店を出店させていただきました。

東京工場で働く従業員は約3,600人。終業時刻の太鼓の合図とともにメイン広場で行われる宴会場所取り合戦には圧倒されます。会場では模擬店34店舗とキッチンカー8台が集結し、集まった人たちは従業員のご家族に加え近隣住民などなど。参加者は1万人超え??どれだけ人がいたでしょうか、4年ぶりの会場は従来以上に大賑わいでした。

そんな中、弊会の店舗も子供さんや主婦の方々から手作り品販売のお店の人まで、たくさんの人たちに来ていた



だき大繁盛! 特に竹ポックリの実演販売では、八王子市南陽台の竹林から提供いただいた厳選した節付きの良い青竹を使用し、当日風が強かったので竹の切りカスが飛んで他の店に迷惑をかけないように奥の物陰で行いましたが、従業員の青年が竹ポックリを履いて会場で宣伝してくれたこともあり、子供さんの待ち行列がで

きるほどの好況ぶりでした。  
終わってみれば想定以上の販売数! 大勢の皆さんに喜んで購入いただけると今後のモノづくりにも力が入ります。また来年も出店できることを楽しみにしています。



## 新 会員紹介

時実早苗です

### 新たなお仲間との活動にワクワク!

高尾の森づくりの会については、以前から会員の方から聞いて興味を持っていたのですが、そのころは仕事をしていて、なかなか踏み出すことができませんでした。このほど、やっと機会があって、参加させていただくことになりました。

会の目的は「植樹すること」くらいにしか思っていませんでしたが、そのための準備や他の作業が重要なのだと、認識を新たにしました。また、しっかりと組織されていることにも感心しています。

山は好きで、ハイキング程度ですが昔から歩いております。また毎日のように近くの玉川上水べりを散歩していますので、そこそこ元気です。それでも後期高齢者ですので、いつまで体が続くかわかりませんが、少しはお役に立てると思います。新しいお仲間と活動できることに、ワクワクしています。どうぞよろしくお願いいたします。

山元君江です

### 山での新たな出会いを楽しみに

9月に入会した山元です。以前から高尾山が好きで登山を楽しんでいましたが、登るだけではなく、他の視点から高尾を見てみたいくなり、「ボランティアを探してみようかな?」と友達に話しをするとすぐに「高尾の森づくりの会」を紹介して頂きました。

まだ2回目の参加ですが、周囲の方々が鉋や鋸の扱い方を指導してくれること、何かある時はリーダーへ相談ができるため楽しく参加しています。そして会員の方々が元気で明るく楽しそうに作業している姿を見て元気を分けて頂いています。

山の中では普段見かけない蝶や大きな蛙を発見しました。また山椒の木を切る時には何ともいい香りが新しく気がつきました。今後どんな生き物に出会えるかとても楽しみです。

他の方に迷惑を掛けないよう安全作業を第一の目標として参加します。これからもよろしくお願いいたします。





## 活動記録

7/17	刈払機講習会（受講者7名、講師・他5名）
7/29,30	チェーンソー特別講習①② （受講者2名、講師・他4名）
8/12	8月定例作業（会員55名、法人3名、体験4名）
8/25	富士電機コミュニティフェスティバル（14名）
8/26,27	清新第一小学校お父さんの会キャンプ （父子43名、会員22名）
9/9	定例作業（会員48名、法人1名、体験1名）
9/23	チェーンソー実践講習（受講者3名、講師2名）
9/24	チェーンソー特別講習③ （受講者2名、講師・他4名）
10/14	定例作業（会員54名、法人8名、体験2名）
10/22	日本山岳会 自然保護全国集会 （JAC25名、会員23名）
10/27	一丁整備（9名）

## 会員動向

## 入会：ようこそ

時実早苗さん、山元君江さん、大木朱美さん、  
清水康司さん

## 退会：お疲れ様でした

アサヒビール（株）さん

## ★ 忘年会のお知らせ ★

## 今年もやります 忘年会！

## ● 日時：

12月9日（土）定例作業終了後 17:00 ～ 19:00

## ● 場所：

「コムサイゴン」（京王八王子駅 中央口徒歩1分）

## ● 会費：

3,000円

たくさんのご参加を

お待ちしております。



## 活動実績と予定

11/3-5	秋のTAKAO599祭 森の学校
11/8,9	美林見学会 （奥羽山脈・鍋越峠、気仙沼・矢越山）
11/11	定例作業
11/18-26	高尾599ミュージアム 「高尾の森と生き物たち展」
12/9	定例作業、忘年会
1/13	定例作業

## 幹事会報告

（詳細はホームページ会員専用ページを参照ください）

## ◆ 8 月

協議事項 8月の定例作業予定と猛暑対策、他

報告事項 国土緑化推補助金の板当の苗木・食害対策利用、今後の各種活動計画、他

## ◆ 9 月

協議事項 9月の定例作業予定、11月の紅葉鑑賞会開催について、他

報告事項 会員状況、各種活動の実績報告と計画について、他

## ◆ 10 月

協議事項 会計処理規則変更について、他

報告事項 小下沢の橋の架け替えと今後の各種活動計画について、他

大塚代表の  
活動で見つけたいい話

チョット

京王電鉄様の親子教室の推進役を大森さんから仁藤さんと小山さんに、一丁整備推進役を本山さんから大森さんにバトンタッチします。新旧の推進役の皆様には、心から感謝しております。引き続き、会員の皆さんと共に楽しいイベントにして行きましょう。

## 編集後記



これまで山ではコンデジをポケットに写真撮影していましたが、初めてミラーレス一眼なるカメラを購入しました。ミラーレス一眼の中でも「軽量コンパクト」のカメラですが、首にぶら下げての山歩きは……、やはり重い。良い写真が届けられるといいのですが。こればかりは腕次第???（大島徹）

